※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「増補新版　現代の国語」　（数研出版）						
副教材等	「重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版）、「新演習　現代文アチーブ２」（桐原書店）、「小説速読トレーニング基礎」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では主体的に考えたことを、他者と協働することで深めていく活動を行います。
・論理的な文章を、構成に留意しながら理解する「読む能力」を伸長させてください。
・自分の意見を論理的に伝達するための「書く能力」と「話す能力」を伸長させてください。
・いかにして学びを深め、人間形成の糧とするか、自分で考え、学習方法を工夫・改善してください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、日本語による言語活動を通して、他者の意見を的確に理解し、自らの意見を効果的に表現できる資質・能力を次の通り育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な漢字や熟語を理解し、自らの考えを表現する中で適切に使用できるようにする。
（２）多様な論理的文章を、構造を意識して読む中で他者の意見を理解し、その理解を基に身近な社会問題についての自らの意見を書く、もしくは話すことで伝えられるようにする。
（３）読書を通して自らの見聞を広げようとする姿勢を育むとともに、協働的な学びを通して、自らの考えを論理的に伝えようとする姿勢を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な語彙を理解し、自らの考えを表現する中で適切に使用している。	多様な論理的文章を、構造を意識して「読む」ことで、他者の意見を理解している。 また、様々な文章を読む中で得た情報や考え方を、身近な社会問題につなげ、自らの考えを持ち、その考えを「書く」ことや「話す」ことで適切に他者に伝えている。	読書を通して自らの見聞を広げようとしている。 また、言葉を通じた協働的な学びを通して、自らの考えを論理的に伝えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	読書と言葉への関心を深める ［教材］ 「コミュニケーション能力とは何か」 「時間と自由の関係について」	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。 b「読」:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 読書カード 振り返りシート
	論理構造を意識して読む ［教材］ 「水の東西」 「白紙」 「「わらしべ長者」の経済学」	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。 b「書」:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
二学期	身近な問題について論点を共有して討論する ［教材］ 「ものとことば」 「会話という現象」	a: 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[話／聞]:実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討する。 c:筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	現代社会について多角的な観点から話し合う ［教材］ 「ポストプライバシー」 「「羅生門」の最後の一文」	a:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 b[話／聞]:本文理解をもとに、考えを広げたり深めたりしながら、社会のあり方について議論し、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 c:本文理解をもとに、考えを広げたり深めたりしながら、社会のあり方について議論し、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとする。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
三学期	「生命」をテーマに小論文を書く ［教材］ 「事実なのか考えなのか」 「命は誰のものなのか」	a: 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[書]: 意図に応じて書かれているかを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c: 筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 小論文 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20～30　）時間

・書くこと　…　（　30～40　）時間

・読むこと　…　（　10～20　）時間